



P コマンド

この章では、P で始まる Cisco Nexus Virtual Services Appliance コマンドについて説明します。

packet vlan

Virtual Supervisor Module (VSM) ドメイン パケット VLAN の VLAN ID を変更するには、**packet vlan** コマンドを使用します。

packet vlan *vlanid*

構文の説明

<i>vlanid</i>	VSM ドメイン パケット VLAN を識別する番号を指定します。有効な範囲は 1 ~ 3967 および 4048 ~ 4093 です。
---------------	----------------------------------------------------------------------

デフォルト

なし

コマンドモード

SVS ドメイン コンフィギュレーション (config-svs-domain)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、VSM ドメイン パケット VLAN の VLAN ID を 1117 に変更する例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# svs-domain
n1010(config-svs-domain)# packet vlan 1117
```

関連コマンド

コマンド	説明
login virtual-service-blade	変更する VSM の Cisco Nexus 1000V CLI にログインします。

コマンド	説明
show vsys-domain	VSM のドメイン設定を表示します。
control vlan	VSM ドメイン制御 VLAN の VLAN ID を変更します。

password strength-check

パスワードの強度の確認をイネーブルにするには、**password strength-check** コマンドを使用します。パスワードの強度の確認をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

password strength-check

no password strength-check

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

この機能は、デフォルトでイネーブルにされています。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、パスワードの強度の確認をイネーブルにする例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# password strength-check
n1010(config)#
```

次に、パスワードの強度の確認をディセーブルにする例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# no password strength-check
n1010(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
role name	ユーザ ロールに名前をつけて、そのロールのロール コンフィギュレーション モードに切り替えます。
show password strength-check	パスワードの強度の確認の設定を表示します。
username	ユーザ アカウントを作成します。

ping

別のデバイスへのネットワーク接続を IPv4 アドレス指定を使用して判別するには、**ping** コマンドを使用します。

```
ping [dest-ipv4-address | hostname | multicast multicast-group-address interface [ethernet slot/port | loopback number | mgmt0 | port-channel channel-number | vethernet number]] [count {number | unlimited}] [df-bit] [interval seconds] [packet-size bytes] [source src-ipv4-address] [timeout seconds] [vrf vrf-name]
```

構文の説明

<i>dest-ipv4-address</i>	宛先デバイスの IPv4 アドレスを指定します。形式は、 <i>A.B.C.D</i> です。
<i>hostname</i>	宛先デバイスのホスト名。ホスト名では、大文字と小文字が区別されません。
multicast	(任意) マルチキャスト ping を指定します。
<i>multicast-group-address</i>	マルチキャスト グループ アドレスを指定します。形式は、 <i>A.B.C.D</i> です。
interface	マルチキャスト パケットを送信するインターフェイスを指定します。
ethernet slot/port	(任意) イーサネット インターフェイスのスロットとポート番号を指定します。
loopback number	(任意) 仮想インターフェイス番号を 0 ～ 1023 の範囲内で指定します。
mgmt0	(任意) 管理インターフェイスを指定します。
port-channel channel-number	(任意) ポートチャネル インターフェイスを 1 ～ 4096 の範囲内で指定します。
vethernet number	(任意) 仮想イーサネット インターフェイスを 1 ～ 1048575 の範囲内で指定します。
count	(任意) 送信の回数を指定します。
<i>number</i>	ping の数。有効な範囲は 1 ～ 655350 です。デフォルトは 5 です。
unlimited	無制限の回数の ping を許可します。
df-bit	(任意) IPv4 ヘッダーの do-not-fragment ビットをイネーブルにします。デフォルトでは無効になっています。
<i>interval seconds</i>	(任意) 送信の間隔を秒数で指定します。範囲は 0 ～ 60 です。デフォルトは 1 秒です。
packet-size bytes	(任意) 送信するパケットサイズをバイト数で指定します。有効な範囲は 1 ～ 65468 です。デフォルト値は 56 バイトです。
source src-ipv4-address	(任意) 使用する送信元 IPv4 アドレスを指定します。形式は、 <i>A.B.C.D</i> です。デフォルトは、デバイスの管理インターフェイスの IPv4 アドレスです。
timeout seconds	(任意) 無応答タイムアウトの間隔を秒数で指定します。指定できる範囲は 1 ～ 60 です。デフォルトは 2 秒です。
vrf vrf-name	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティングおよびフォワーディング) の名前を指定します。デフォルトはデフォルト VRF です。

デフォルト

デフォルト値については、このコマンドの「構文の説明」を参照してください。

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザーロール ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、別のデバイスへの接続を IPv4 アドレス指定を使用して判別する例を示します。

```
n1010# ping 172.28.231.246 vrf management
PING 172.28.231.246 (172.28.231.246): 56 data bytes
Request 0 timed out
64 bytes from 172.28.231.246: icmp_seq=1 ttl=63 time=0.799 ms
64 bytes from 172.28.231.246: icmp_seq=2 ttl=63 time=0.597 ms
64 bytes from 172.28.231.246: icmp_seq=3 ttl=63 time=0.711 ms
64 bytes from 172.28.231.246: icmp_seq=4 ttl=63 time=0.67 ms

--- 172.28.231.246 ping statistics ---
5 packets transmitted, 4 packets received, 20.00% packet loss
round-trip min/avg/max = 0.597/0.694/0.799 ms
```

関連コマンド

コマンド	説明
ping6	IPv6 アドレスを使用して別のデバイスとの接続を確認します。

port-profile

ポート プロファイルを作成してポート プロファイル コンフィギュレーション モードを開始するには、**port-profile** コマンドを使用します。ポート プロファイル コンフィギュレーションを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

port-profile *name*

no port-profile *name*

構文の説明

name ポート プロファイル名。名前の長さは最大 80 文字です。

デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

Cisco Nexus 1000V 上の各ポート プロファイルのポート プロファイル名は一意であることが必要です。

例

次に、AccessProf という名前のポート プロファイルを作成する例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# port-profile AccessProf
n1010(config-port-prof)
```

次に、AccessProf という名前のポート プロファイルを削除する例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# no port-profile AccessProf
n1010(config)
```

関連コマンド

コマンド	説明
show port-profile name profile_name	ポート プロファイルに関する情報を表示します。

pwd

現在のディレクトリを表示するには、**pwd** コマンドを使用します。

pwd

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、現在のディレクトリを表示する例を示します。

```
n1010# pwd
bootflash:
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
cd	現在の作業ディレクトリを変更します。
dir	ディレクトリの内容を表示します。
rmdir	ディレクトリを削除します。

